



2023年2月14日

各 位

会社名 鹿島建設株式会社  
代表者 代表取締役社長 天野 裕正  
(コード番号 1812 東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 取締役専務執行役員  
財務本部長 内田 顕  
(TEL. 03-5544-1111 (代表))

## サステナビリティ・リンク・ボンド（第48回無担保社債）発行に関するお知らせ

当社は、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取組みをファイナンスの側面からも推進するため、サステナビリティ・リンク・ボンド（※1）（鹿島建設サステナビリティ・リンク・ボンド）を本年3月に発行（以下、本発行）予定であり、本日2月14日に、本発行に向け社債の訂正発行登録書を関東財務局長に提出いたしましたのでお知らせします。

### ■本発行の目的及び背景

当社グループは、事業活動や中期経営計画における施策と、SDGsをはじめとした社会課題との関連性を整理し、7項目に取りまとめ、社会課題の解決と当社グループの持続的成長を両立させるためのマテリアリティ（重要課題）として定めています。マテリアリティのうち「脱炭素社会移行への積極的な貢献」に関しては、2013年に環境への取組みの基本として「鹿島環境ビジョン：トリプルZero2050」を策定し、Zero Carbon、Zero Waste、Zero Impactの達成に向けた取組みを積極的に推進しています。

2022年9月には「鹿島環境ビジョン：トリプルZero2050」を見直し、新たなCO<sub>2</sub>排出量削減目標として、2021年度比で2030年度に自社排出（スコープ1・2）を40%削減、サプライチェーン（スコープ3（※2））では25%削減を設定しました。2050年度にはスコープ1・2・3でカーボンニュートラル（100%削減）を目指します。また、2023年度中のSBT（温室効果ガス排出削減目標に関する国際認証）の取得を計画しています。

Zero Carbonを実現するためには、現場など自社の事業活動での省エネルギーやCO<sub>2</sub>の排出削減だけでなく、再生可能エネルギーの活用・推進など多面的な取組みが重要と考えています。また、当社は、建造物のライフサイクルを考えた計画・設計段階、新築やリニューアル・解体などの施工段階、竣工して発注者に引き渡してからの運用段階などそれぞれのフェーズで排出するCO<sub>2</sub>を削減するための取組みを行っています。事業活動のあらゆるフェーズでの取組みにより、環境負荷の低減に努め、脱炭素社会の構築に貢献します。

このような2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取組みをファイナンスの側面からも推進すべく、当社はサステナビリティ・リンク・ボンドを発行することとしました。

当社のサステナビリティ・リンク・ボンド フレームワークの詳細につきましては、以下のURLもご参照ください。

<https://www.kajima.co.jp/ir/grading/slb/framework/index.html>

※1 「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、発行体が事前に設定した将来的なサステナビリティ/ESGに関連する目的の達成状況に応じて、財務的・構造的な特徴が変化する可能性のある債券をいいます。発行体は、事前に設定した時間軸の中で、サステナビリティに関連する目的の達成に向けて行動していくことを明示的に表明します。発行体が事前に設定していたサステナビリティ/ESGに関連する目的が達成されたかについては、事前に設定された重要な評価指標(以下、KPI)によって測定され、事前に設定されたサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、SPTs)に照らして評価されます。

※2 「スコープ3」とは、スコープ1(直接排出量)及びスコープ2(エネルギー起源間接排出量)以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)をいい、15のカテゴリ分類から構成されます。KPI2においては、カテゴリ1(建材製造時)及びカテゴリ11(建物運用時)をCO<sub>2</sub>排出量(スコープ3)として算定します。

## ■本発行の概要

名 称	鹿島建設株式会社第48回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)(サステナビリティ・リンク・ボンド)
別 称	鹿島建設サステナビリティ・リンク・ボンド
発行総額	100億円(予定)
発行年限	5年(予定)
発行時期	本年3月頃(予定)
KPI	KPI1: 当社のCO <sub>2</sub> 排出量(スコープ1・2)の売上高原単位(単位: t-CO <sub>2</sub> /億円) 平均値(2023年度~2026年度) KPI2: 当社のCO <sub>2</sub> 排出量(スコープ3)の売上高原単位(単位: t-CO <sub>2</sub> /億円) 平均値(2023年度~2026年度) KPI3: CDP 気候変動のスコア(2024年度~2027年度各12月公表)
SPTs	SPT1: KPI1が13.0t-CO <sub>2</sub> /億円以下(判定日: 2027年8月) SPT2: KPI2が442.8t-CO <sub>2</sub> /億円以下(判定日: 2027年8月) SPT3: KPI3が「A」又は「A-」(判定日: 2027年12月)
債券の特性	いずれかのSPTsが未達成の場合、本サステナビリティ・リンク・ボンドの償還後1年以内に、排出権クレジット購入又は寄付のいずれか、又は排出権クレジット購入と寄付を組み合わせる実施します。各SPTsが未達成の場合の排出権クレジット購入額又は寄付額は以下のとおりです。 SPT1: 社債発行額の0.025%相当額 SPT2: 社債発行額の0.025%相当額 SPT3: 未達成となった回数1回につき社債発行額の0.0125%相当額
主 幹 事	大和証券株式会社、SMB C日興証券株式会社 野村証券株式会社、みずほ証券株式会社
Structuring Agent	大和証券株式会社

■サステナビリティ・リンク・ボンドとしての適合性について

当社は、本発行にあたり、サステナビリティ・リンク・ボンド発行のために国際資本市場協会（ICMA）が定める「サステナビリティ・リンク・ボンド原則（Sustainability-Linked Bond Principles）2020」及び環境省が定める「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン（2022年版）」に即したサステナビリティ・リンク・ボンド フレームワークを策定するとともに、株式会社格付投資情報センターから、サステナビリティ・リンク・ボンド フレームワークが両者に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しております。

以 上